



2014年4月22日

報道関係者各位

GE、木質バイオマスのガス化発電を推進 少量の木材によるガス化発電が可能に

GE パワー&ウォーターの分散電源部門では、イエンバッハ・ガスエンジンを用いた、木質バイオマスのガス化発電をより積極的に推進いたします。そのため、今般、日本 GE 内に木質バイオマスのガス化発電を推進するプロジェクトチームを発足させ、幅広い潜在顧客の様々なニーズにきめ細かな対応をおこなってまいります。

木質バイオマスのガス化発電システム

2012年7月より、「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」が開始され、燃料が未利用木材の場合、1キロワット時当たり買取価格が32円となり、豊富な森林資源の有効活用策として木質バイオマスによる発電が注目されています。発電事業者にとって木質バイオマス発電は、これまで燃料となる木材の安定的な確保が課題でした。しかし木質バイオマスのガス化発電であれば、年間1~2万トンの未利用木材等を利用して、1,000キロワット~2,000キロワットの発電をおこなうという、これまでのおよそ1/5から1/10の少量木材を燃料とする小規模発電でも、事業性の確保が可能となり、お客様にとって「エネルギーの地産地消」による効率的な事業運営が実現できます。

GEイエンバッハ・ガスエンジンとLEANOXコントロール技術

GEのイエンバッハ・ガスエンジンはこれまでに世界で累計130万キロワット以上のバイオマス・バイオガス発電設備に導入されています。また、木質バイオマスのガス化発電でも、ヨーロッパを中心に約50基が稼働するなど豊富な実績を有しています。



【参考画像】イエンバッハ・ガスエンジン Type6

木質バイオマスのガス化において、一般的には、発熱量の変動が大きい熱分解ガスの対応など、不安定な品質のガスに対応する必要があります。しかしGEのイエンバッハ・ガスエンジンであれば、独自のLEANOXコントロール技術により、リアルタイムで計測する空気やガスの圧力や温度などのデータを使ってガスエンジンを最適に運転することができ、木質バイオマスのガス化にも柔軟に対応が可能となります。

木質バイオマス発電推進プロジェクトチーム

今般発足した「木質バイオマス発電推進プロジェクトチーム」は、ファイナンス部門等のクロスファンクショナルチームで、パートナー各社様、機器メーカー各社様と連携し、幅広い潜在顧客層に対して、より丁寧できめこまかなサービスを通じ、お客様の様々なニーズにお応えした「木質バイオマスのガス化発電」を、積極的に推進してまいります。

GE分散電源部門のウェブサイト

<http://www.ge-japan-energy.com/>

GEについて

GEは、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本において GE は、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エンジンを創始者とする GE は、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それがGEです。日本においては、すでに100年以上の歴史を持ち、4,800人の従業員が全国50か所で活躍しています。日本における GE の活動については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧下さい。

GE/パワー&ウォーターについて

GE/パワー&ウォーターは国や地域ごとの課題を解決する、幅広い発電設備や水処理技術をお客様に提供しています。パワー&ウォーターは風力や太陽光などの再生可能資源、バイオガスと代替燃料、および石炭、石油、天然ガス、原子力エネルギーを含むすべてのエネルギー産業に関わっています。また水の供給とその品質に関して、世界で最も難しい課題を解決する先進的技術の開発も行っています。パワー&ウォーターには分散型電源、原子力、パワー・ジェネレーション・サービス、再生可能エネルギー、火力発電向け機器、およびウォーター&プロセス・テクノロジーの6つの事業部が属しています。パワー&ウォーターはニューヨーク州スケネクタディに本社を置き、GEとして最大の産業部門です。

<本件に関するメディアの方からのお問合せ先>

日本 GE 株式会社 PR 事務局（イニシャル内）担当：牧野、稲垣
Tel:03-5572-6062 Fax:03-5572-6065 E-mail:ge_japan@vectorinc.co.jp